

会 議 録

会議の名称	第４５回白岡市地域公共交通会議及び白岡市地域公共交通確保維持改善協議会会議
開催日	令和６年５月２７日（月）
開催時間	午後１時３０分 から 午後３時０５分 まで
開催場所	白岡市役所１階 大会議室
会長の氏名	椎木隆夫
出席者（出席委員）の氏名・出席者数	明野真久、細井将司、和久田 卓、関根 肇、佐々木操、浅野悦子、廣田勝明、高木純子、島根淳、新井良延、阿部映里香、大谷昌司、中村輝久 １３人
欠席者（欠席委員）の氏名・欠席者数	田沼健一、高原昭、浅草孝男、矢島静江、飯塚光弘、古川美和、尾崎晴男、松ノ尾崇弘 ８人
説明員の職・氏名	生活経済部 部長 神田 正 地域振興課 課長 岡村 清 地域振興課 交通政策室 室長 長島雅治 地域振興課 交通政策室 主査 中澤 聡 地域振興課 主任専門員 河野 彰
事務局職員の職・氏名	生活経済部 部長 神田 正 地域振興課 課長 岡村 清 地域振興課 公共交通推進室 室長 長島雅治 地域振興課 公共交通推進室 主査 中澤 聡 地域振興課 主任専門員 河野 彰
その他会議出席者の職・氏名	傍聴者 １名
会議次第	1 開会 2 挨拶 — 令和６年度白岡市地域公共交通確保維持改善協議会総会 — 1 開会 2 議案 議案第１号 監事の選出について 議案第２号 令和５年度事業報告について 議案第３号 令和５年度歳入歳出決算について

	議案第4号 令和6年度事業計画（案）について 議案第5号 令和6年度歳入歳出予算（案）について 3 閉会 3 会議事項 (1) 地域公共交通計画認定申請（地域公共交通計画のうち地域公共交通確保維持事業に係る計画）について (2) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務に係る公募型プロポーザル実施要領（案）について (3) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務仕様書（案）について (4) 目的地（主要施設）について 4 その他 5 閉会
配布資料	会議次第 委員名簿 資料1 白岡市のりあい交通運行実績資料 （令和5年4月～令和6年3月） 資料2 地域公共交通計画認定申請書 資料3 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務に係る公募型プロポーザル実施要領（案） 資料4 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務仕様書（案） 資料5 「のりあい交通」目的地（主要施設）について 【白岡市地域公共交通確保維持改善協議会総会資料】 総会次第 総会資料

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	1 開会 岡村地域振興課長の進行により会議が開会した。 新規委員の自己紹介、事務局職員の紹介が行われた。 — 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会総会 — 1 開会 岡村地域振興課長の進行により、総会が開会された。 2 会長挨拶 椎木会長から挨拶が行われた。 3 議案 (1) 議案第1号 監事の選出について 監事の選出については、会長が指名することとされているため、島根委員を指名する (会長の指名どおり、監事は島根委員に決まった。) (2) 議案第2号 令和5年度事業報告について (3) 議案第3号 令和5年度歳入歳出決算について 議案第2号、議案第3号について関連があるため、一括して議題とする。事務局に説明を求める。 事務局から総会資料に基づき、説明が行われた。 (事務局の説明の後、監事の浅野委員から監査報告がなされた。) 椎木会長 本件に対する質疑を求める。
事務局	
椎木会長	
椎木会長	
事務局	
A委員	
椎木会長	

B 委員	財産目録には現金しか記載されていないが、タクシーの車両自体は事業者の所有物なのか。
事務局	事業者の所有物である。
椎木会長	その他に質疑はあるか。
	(質疑はなかったため、議案の承認を求めた結果、原案のとおり承認された。)
	(4) 議案第 4 号 令和 6 年度事業計画 (案) について
	(5) 議案第 5 号 令和 6 年度歳入歳出予算 (案) について
椎木会長	議案第 4 号、議案第 5 号について関連があるため、一括して議題とする。事務局に説明を求める。
事務局	事務局から総会資料に基づき、説明が行われた。
椎木会長	本件に対する質疑を求める。
	(質疑はなかったため、議案の承認を求めた結果、原案のとおり承認された。)
椎木会長	2 閉会 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会総会の閉会を宣言する。
事務局	交通会議と協議会の合同会議に戻る。議長については、引き続き、会長に願います。
	3 会議事項
椎木会長	(1) 地域公共交通計画認定申請 (地域公共交通計画のうち地域公共交通確保維持事業に係る計画) について 事務局に説明を求める。

事務局	資料１に基づき、令和５年度の実績についての説明が行われた。
	引き続き、資料２に基づき、地域公共交通計画認定申請（地域公共交通計画のうち地域公共交通確保維持事業に係る計画）について説明が行われた。
椎木会長	本件に対する質疑を求める。
	（質疑がなかったので、資料のとおり承認された。）
	(2) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務に係る公募型プロポーザル実施要領（案）について
椎木会長	事務局に説明を求める。
事務局	資料３に基づき、白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務に係る公募型プロポーザル実施要領（案）について説明が行われた。
椎木会長	ここで、ただ今の説明にあった「選定審査委員会の委員」について、私から指名をさせていただいてよろしいか。
出席委員	異議なし。
椎木会長	それでは、指名させていただく。 当交通会議及び協議会の役員である、私、会長の椎木と副会長の佐々木委員、監事である浅野委員と島根委員の４名に、御専門の立場から 東洋大学教授の尾崎委員を、また、事務局から神田生活経済部長を指名して、総勢６名とさせていただきたいがよろしいか。
出席委員	異議なし。
椎木会長	それでは、この実施要領については選定審査委員の６名と事務局において詰めさせていただくとするが、何かお気づきの点など

	があれば質疑を願いたい。 (質疑がなかったので、資料のとおり承認された。) (3) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務仕様書(案)について
椎木会長	事務局に説明を求める。
事務局	資料4に基づき、白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務仕様書(案)について説明が行われた。
椎木会長	本件に対する質疑を求める。
C委員	説明の中に電子決済の話があったが、具体的にどのような種類のものを導入する予定なのか。
事務局	回数券を購入すると高額になるため、クレジットカードを導入したいと考えている。また、鉄道などと相互利用ができるよう、交通系ICカードを利用できるようにしたいと考えている。 それ以外のQRコードを使った決済などは、事業者からの提案に含めていただければと考えている。
C委員	先ほど前回と変わったところで、利便性を向上させるために、台数を4台にすると説明があった。予備車両の1台と合わせると全部で5台になるが、運行事業者は問題ないのか。5台は多いと思うが、問題ないと考えているということか。
事務局	問題ないと考えている。 実際にのりあい交通の運行のあり方について、市民の中でも近隣市への運行の実施、利用者の増加に対応した車両の確保のニーズが高い。その実現のために、第1に考えたのが車両の確保についてであり、こちらについては対応可能という認識である。

椎木会長	他に質疑はあるか。 無いようなので私からお尋ねしたい。最近、タクシーやバスのなり手不足という話をよく聞くが、差し支えない範囲で結構なので、その辺の事情をお聞かせ願いたい。
D 委員	バス会社の方も来ているが、人員の確保は非常に厳しい状況である。バスにおいては、近隣の地域でも減便、運休などがあり、タクシー業界においても、以前の稼働率は7割8割だったが、現在は6割程度である。 そもそも車に興味を持つ方が少なくなっており、車を仕事にするという考えが出てこなくなっている。全国各地域の運営協議会においても、ドライバーの確保は非常に問題となっている。 また、2024年問題で、労働時間短縮の課題がある。我々タクシー業界は以前と比べ、毎日1、2時間は減らさなければならず、非常に厳しい状況にある。 そのような状況を認識していただけるとありがたい。
椎木会長	ありがとうございました。 バス会社の状況はいかがか伺いたい。
E 委員	先ほどの話にもあったように、2024年問題で4月1日からのダイヤ改正を実施し、できる限り効率化を図ったが、実際に運行を始めると、毎日の運行で運転手を事欠くような状況である。 求人に関しても、出してはいるが集まらない。そのような現状なので、今後もこれ以上の増便などは現実的ではなく、更なる効率化、減便などを検討している状態である。
椎木会長	ありがとうございました。 関根委員はいかがか。
F 委員	私どもの会員各社それぞれで関係者不足であり、毎月のように運転手募集をかけている。ただ、入社しても定年等で辞めたり、それ以外の理由で辞めたりというところで、路線バスについては、

	8割程度は運転手が不足している状況である。そのためほぼ毎日のように減便、路線の廃止または、休止などのニュースが出ている。 一番問題なのは運転手不足であることは確かだが、報道の中で、バスだけではないが、運転手の労働環境が長時間労働で、低賃金だということばかりが取り上げられていることである。そこが非常にクローズアップされてしまい、運転手を採用する側からすると、大きなマイナス要素になってしまっている。 バス、タクシー、トラック等は、生活になくてはならない事業であるため、いかにして業界に入ってもらえるかというPRを我々協会としては行っていこうとしているところである。 協会では昨年も、バス事業者の合同就職説明会を実施した。今年も17か18社が合同就職説明会を開催する予定である。 また、自治体で、運転免許を返納するにあたって、公共交通を使うようにということで、様々なことを行っているが、逆効果になっている。免許を返納したらバスが減便となり使えなくなっている。自主返納をするのかしないのか、そこでまた悩みができ、様々な問題が発生していると考えている。
椎木会長	ありがとうございました。 これから次の契約に向けて公募型プロポーザルに入っていくが、今までのような気持ちでいると大変厳しいと思われる。先ほどの選定審査委員、そして事務局は気持ちを引き締めてプロポーザルに当たっていかなくてはいけない。 他に質疑はあるか。 (質疑がなかったので、資料のとおり承認された。)
椎木会長	(4) 目的地（主要施設）について 事務局に説明を求める。
事務局	資料5に基づき、目的地（主要施設）について説明が行われた。

椎木会長	本件に対する質疑を求める。
D 委員	前回お話したとおりだが、商店に関しては商店街の中のこの商店というやり方だったと思われる。お店1個1個が乗り場にはなっていないはずである。 お店ができたからそのお店を乗り場にするのではなく、商店街があり、その商店街のこのお店にしようということではないか。例えば、駅前の商店街とかセブンイレブンが全部お願いしますと言ったら止められる形になってしまう。 元々私の認識が間違っていたら申し訳ないが、特に病院などは早めに登録したいということで、後付けでこちらの方に報告でいいのではという話があったと思われる。しかし、一般の店に関しては、同様にすると全てのお店が乗り場になってしまうことになると思うので、それは最初の話と違うと思われる。 それに関してはどのようなお考えなのか。私の認識は商店街の中の1か所のお店という認識なのだがいかがか。
椎木会長	事務局に回答を求める。
事務局	お店ができたなら直ちに追加という形はとってはいない。あくまで最初設定されたときは、明野委員からご説明あったとおりかと思われる。 利用者の方からニーズがあって、ここを追加してくれという要望があった際に、ここで諮って追加をさせていただいている。例えば商店会とか、加盟してなくてもドラッグストアさんとか、先日の会議でも追加いただいているが、同じような考えでニーズがあれば追加していくというような考えである。
椎木会長	例えばこのメンズサロンというのは、商店街の中の一つというよりポツンと立地しているものなのか。
事務局	そうである。西のカスミの栗橋線を挟んだ反対側にあり、周辺に店舗で登録されているところはない。

D 委員	私が最初の頃に行った基準は商店街に入ってなくても、この辺に商圈があってその中心地だとか、商店街の方と話をして、「この店を発着地にしよう」とそういう認識でやってきたと思われる。 ただ単にお店ができて個人商店ということになると、ちょっと考え方が違うのかなという気がするので、その辺の基準は明確にしておきたい。商店ごとにやったら倍以上に乗降場が増えて煩雑になっていく。今でもやはり、この商店じゃないけど近くの商店までお客様を連れて行って、そこから歩いて行っていうもらうことも実際にある。 そうすると全部の商店を逆にやらないとおかしな話になるので、ルールを厳格にしていきたい。病院や、ドラッグストアなど、大型集客のところは別だが、個人商店に関しては何か基準を作らないと煩雑になっていく。
椎木会長	ありがとうございます。 先ほどの事務局の回答だと、利用者からのリクエストを重要視しているように受け止められたが、利用者からのリクエストがあった場合は基準なしに設定をしてしまうのか。
事務局	現在具体的に何メートル離れていればというような基準は設けられていない。利便性向上のためにということで目的地の追加を諮らせていただいていたが、基準があった方がいいのではないかとというご指摘があったので、基準の作成について検討させていただきたい。
椎木会長	他に質疑はあるか。 それでは質問がないようなので目的地（主要施設）について、原案のこの2箇所の追加。それから今後は事務局にお任せいただいて、この会議では事後報告する。さらには目的地の追加にあたって、個人商店などについては、一定の基準を今後に向けて検討する。この3点について、ご理解いただいたということでよろしいか。

出席委員	異議なし。
椎木会長	ありがとうございます。 それでは（４）目的地（主要施設）およびその関連の件は原案どおりとさせていただきます。
事務局	５ その他 事務局からは特になし。委員の皆様から連絡等はあるか。
G委員	以前から参加させていただいて、同じことを毎回言っているが、予算状況についても何回も説明を聞いて重々承知だが、可能であればタクシーの回数券がいいのではないかとということを、申し上げておきたい。
事務局	他に何かあるか。 ないようなので閉会にあたり佐々木副会長から閉会の挨拶を頂戴したい。
佐々木副会長	６ 閉会 佐々木副会長から挨拶が行われた。